

聖霊降臨後第14主日（特定17）（聖書協会共同訳）

慈しみ深い神よ、あなたはみ恵みを常にわたしたちに先立たせ、また伴わせてくださいます。どうかこの恵みによって絶えずすべてのよい業を行うことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。**アーメン**

旧約聖書 エレミヤ書 15章15—21節

15 主よ、あなたはご存じです。私を思い起こし、私を顧み私を迫害する者に、私に代わって復讐してください。あなたの怒りの時を遅らせ私を取り去らないでください。私があるあなたのゆえにそしりを受けているのを知ってください。16 あなたの言葉が見いだされたとき、私はそれを食べました。あなたの言葉は私にとって喜びとなり、私の心の楽しみとなりました。万軍の神、主よ、私はあなたの名で呼ばれているからです。17 私は笑い戯れる者の集いの中に座ったことも、喜んだこともなくあなたの御手によって、独りで座っていました。あなたが憤りで私を満たされたからです。18 なぜ、私の痛みはいつまでも続き私の傷は治らず、癒えることを拒むのでしょうか。実にあなたは、私にとって欺く者のように頼りにならない流れのようになられました。19 それゆえ、主はこう言われる。もしあなたが立ち帰るならば、私はあなたを立ち帰らせあなたは私の前に立つ。もしあなたが無価値なことではなく、尊いことを口にするならあなたは私の口のようになる。彼らがあなたのところに帰るのであってあなたが彼らのところに帰るのではない。20 私はあなたを、この民に対して、堅固な青銅の城壁とする。彼らがあなたと戦ってもあなたには勝てない。私があるあなたと共にいてあなたを救い助け出すからである——主の仰せ。21 私はあなたを悪人の手から助け出し凶暴な者の手から贖う。

詩 編 第26編

- 1 主よ、わたしを救ってください // わたしは誠実に生き、あなたに信頼して揺らぐことがない
- 2 主よ、わたしを試み、ためし // 心と思いを調べてください
- 3 慈しみはわたしの目の前にあり // わたしはあなたに忠実に歩む
- 4 わたしは偽る者とともに座らず // 偽善を行う者と交わることがない
- 5 悪を行う者の集いを退け // 悪人と席をともにしない
- 6 主よ、わたしは手を清めて // 祭壇の周りであなたに仕える
- 7 わたしは賛美の歌を献げ // あなたの不思議な業をみな宣べ伝える
- 8 主よ、あなたの栄光のとどまる所 // あなたの家をわたしは慕う
- 9 罪人とともに、わたしを滅ぼさず // 血に飢えた者とともに、命を取り去らないでく

ださい

- 10 彼らの手には悪い企みがあり // その右手には賄賂が満ちている
- 11 誠実に生きるわたしを顧み // わたしを救い、慈しみを示してください
- 12 わたしは平らな所に立ち // 人びとの集いの中であなたをたたえる

使徒書 ローマの信徒への手紙 12章 1—8節

1 こういうわけで、きょうだいたち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を、神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたの理に適った礼拝です。2 あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにしておいて自分を造り変えていただき、何が神の御心であるのか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるのかをわきまえるようになりなさい。3 私に与えられた恵みによって、あなたがた一人一人に言います。分を越えて思い上がることなく、神が各自に分け与えてくださった信仰の秤に従って、慎み深く思うべきです。4 一つの体の中に多くの部分があっても、みな同じ働きをしているわけではありません。それと同じように、5 私たちも数は多いが、キリストにあって一つの体であり、一人一人が互いに部分なのです。6 私たちは、与えられた恵みによって、それぞれ異なった賜物を持っています。預言の賜物を受けていれば、信仰に応じて預言し、7 奉仕の賜物を受けていれば、奉仕に、教える人は教えに、8 勧める人は勧めに専念しなさい。分け与える人は惜しみなく分け与え、指導する人は熱心に指導し、慈善を行う人は快く行いなさい。

福音書 マタイによる福音書 16章 21—27節

21 この時から、イエスは、ご自分が必ずエルサレムに行き、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受けて殺され、三日目に復活することになっている、と弟子たちに打ち明け始められた。22 すると、ペトロはイエスを脇へお連れして、いさめ始めた。「主よ、とんでもないことです。そんなことがあってはなりません。」23 イエスは振り向いてペトロに言われた。「サタン、引き下がれ。あなたは私の邪魔をする者だ。神のことを思わず、人のことを思っている。」24 それから、弟子たちに言われた。「私に付いて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を負って、私に従いなさい。25 自分の命を救おうと思う者は、それを失い、私のために命を失う者は、それを得る。26 たとえ人が全世界を手に入れても、自分の命を損なうなら、何の得があろうか。人はどんな代価を払って、その命を買い戻すことができようか。27 人の子は、父の栄光に輝いて天使たちと共に来るが、その時、それぞれの行いに応じて報いるのである。28 よく言うておく。ここに立っている人々の中には、人の子が御国と共に来るのを見るまでは、決して死なない者がいる。」